

## 【用語解説】

### ▽資産

将来にわたり公共サービスを提供できる価値、すなわち次の世代が受けることのできるサービス

### ▽負債

資産を取得するために借り入れたもので、将来返済すべきものであり、次の世代が負担する借金

### ▽正味資産

資産形成のため、これまでの世代が負担してきたもので、将来返済する必要がないもの(資産と負債の差額)。この部分が大きいほど次の世代への負担が少ないことを示します。

### ▽有形固定資産

市がこれまでに整備してきた道路、公園、学校、体育文化施設などの土地、建物、設備など

### ▽投資等

市が活動を行う上で必要な団体への出資金や特定の目的のために積立している基金など

### ▽流動資産

市の保有する現金や預金のほか、将来の資金不足に備えるための「財政調整基金」、地方債の償還に備えるための「減債基金」や市税などの未収金など

### ▽国・県支出金

市が現在保有している資産のうち、国や県が負担した金額

### ▽一般財源等

市が現在保有している資産のうち、市民が納めた市税などにより負担した金額



# バランスシート(貸借対照表)

市の資産(建物や土地など)や負債(借金)などの状況を一覧表にまとめた報告書です。市が資産をどのくらい保有し、その資産を得るためにどのくらい国や県から補助金が交付されているか、また借金をしているかが分かります。左側(借方)と右側(貸方)が常に同額となるため、バランスシートといわれます。

(単位:千円)

借	方	貸	方
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
1. 有形固定資産	137,507,963	1. 固定負債	37,440,011
(うち土地)	60,143,364)	(1) 地方債	30,519,491
		(2) 債務負担行為	900,000
		(3) 退職給与引当金	6,020,520
2. 投資等	5,176,926	2. 流動負債	2,640,718
(1) 投資及び出資金	2,237,324	(1) 翌年度償還予定額	2,640,718
(2) 貸付金	124,320	(2) 翌年度繰上充用金	0
(3) 基金	2,815,282		
		<b>負債合計</b>	<b>40,080,729</b>
		<b>[正味資産の部]</b>	<b>107,550,171</b>
3. 流動資産	4,946,011	1. 国庫支出金	11,520,798
(1) 現金・預金	3,419,203	2. 都道府県支出金	4,178,105
(2) 未収金	1,526,808	3. 一般財源等	91,851,268
<b>資産合計</b>	<b>147,630,900</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>147,630,900</b>

(平成19年3月31日現在)

## ● バランスシートからわかること

**資産**は、昨年と比べ、約5億円増加しました。これは基金などが増加したものによるものです。総資産のうち道路、公園、学校など「有形固定資産」が93%を占めています。

**負債**は、昨年と比べ、約10億円増加しました。これは、主に債務負担行為が増加したものによるものです。負債のうち「地方債」は約332億円で、負債総額の約83%を占めています。